歴史文化基本構想の概要

令和元年5月1日、丹波篠山市に市名変更し、更なる観光拠点整備に取り組む。 篠山城下町、八上城などの山城、宿場町福住の町並みは、市民の心の拠りどころ として『デカンショ節』に歌い継がれている。城下町を一歩出るとひろがる「農 村集落」や街道沿いに残る「街道集落」。多彩な文化を育んだ日本遺産のまち丹 波篠山の文化財を活用し、歴史・文化の息づくまちづくりを進める。

観光拠点形成の方向性

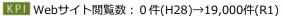
- ・重伝建地区である町「福住保存地 区」を観光拠点として整備
- ・京都を訪れる観光客を丹波篠山市 に誘引する観光コースづくり

観光に関する課題

- ・観光客(特に外国人)向けの看板・ パンフレット類の不足
- 一筆書きで周遊できる観光コースの 更なる充実
- 市内周辺地域との連携不足

「丹波篠山西京街道古地図散歩」推進事業

「丹波笹山城之絵図」([正保城絵図] 1644年頃) など3種の古地図を見な がら観光できるWebサイトを制作。GPS機能を活用し、タイムスリップ したように城下町や街道を散策をしながら、歴史資源の解説や写真を 見ることができる。端末の言語設定により英語表記も可能にした。







西京街道モニターツアーの実施

西京街道を活用して京都方面からの観光客を誘引するため、外国人モニ ターを募集し、ツアーを3回(①福住の町並みと祭礼、②丹波篠山の味 覚と日本酒、③丹波篠山の田舎ごはんと城下町)実施。いずれも英語通 訳ガイドが同行。将来的には外国人向けツアーコースの開発に繋げる。

KPII ツアーモニターの実施数:0件(H28)→9件(R1)



西京街道ツアーガイドブック製作

京から篠山へ続く西京街道を活用し、京都方面より発着し、福住・篠山 城下町を観光するツアーモニター事業で得られたデータから、ガイド ブック "Visit Tamba Sasayama Saikyo Kaido "を作成。丹波篠山の歴史や 文化を紹介し、観光のモデルコースを紹介した。日本語・英語併記。

名作庭家、重森三玲が手がけた住吉神社「住之江の庭」を観光拠点とし て再生・活用するため、市民を対象に「住之江の庭」の魅力を学ぶ講演 会や修復手法・保全技術を学ぶ勉強会を実施した。平成30年度は修復

KPI ツアーモニターの実施数:0件(H28)→9件(R1)

住吉神社「住之江の庭」の再生と活用





ワークショップを11回開催し、市内外から延べ266名が参加した。 KPI ワークショップの参加人数:0人(H28)→30人(R1)

文化財の保存・活用への理解の深化

「住之江の庭」修復ワークショップを実施し、活動報告書を作成した結 果、地域住民に庭への愛着が生まれ、文化財保存・活用への理解を深め ることができた。

メディア発信による地域の関心の向上

修復ワークショップの様子が新聞3紙に紹介され、福住保存地区におけ る文化財保存・活用の機運が高まった。引き続き前庭整備、ガイド養成 事業をメディアに発信し、地域による保全意識の向上に繋げる。



概

教育委員会事務局文化財住まちなみ保存会/丹波福住地区まちづくり協議・協議会メンバー: 財波議 課篠会 山戸市福

平平補平構 三四間三 月月・・月